

荒川ハンノキプロジェクト & 荒川の草花を育てようプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクトです。荒川の草花を育てようプロジェクトは、外来植物^{*}が増えるのをおさえるために、三ツ又沼ビオトープ周辺にもともと生えていた野草を増やす取り組みです。サポーター事務局では、この取り組みに参加する企業・団体・学校を募集しています。

^{*}外来植物：人によって地域の外から持ち込まれた植物



今年度のオリエンテーションと現地活動

上尾市立太平中学校 科学部

上尾市立太平中学校の科学部は、平成13年度から三ツ又沼ビオトープの保全管理活動に参加しており、今年度で18年目になります。夏休みや冬休みを利用して現地で活動を行い、本プロジェクトの一環として、学校で三ツ又沼ビオトープ産のハンノキや荒川の草花を育てています。

6月15日(金)に太平中学校へ伺い、三ツ又沼ビオトープの自然や保全管理についての講話やワークショップを行いました。そこで、科学部の皆さんは、今後1年間を通してどのような活動をしていきたいかを考えました。

8月1日(水)、オリエンテーション後のはじめての現地活動を行いました。活動内容は、本プロジェクトを通してこれまで先輩たちが植栽したハンノキの生育状況の調査、ハンノキの周りの下草(外来植物やつる植物)の抜き取りです。科学部の皆さんは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」が好むハンノキ林を育てるために一生懸命に取り組んでいました。



三ツ又の自然に触れる

川島町立つばさ南小学校

7月4日(水)、川島町立つばさ南小学校5年生が地域の自然を学ぶ一環として、三ツ又沼ビオトープを訪れました。児童は、あらかわ市民環境サポーターの案内のもと、三ツ又沼ビオトープ内を散策しながら、黄色と黒のしま模様があざやかで大きなコガネグモや葉の一部が白くなるハンゲショウの群落など、夏の自然を観察しました。コガネグモについては、始めはおっかなびっくりでしたが、よく見ると「きれい!」と児童の皆さんはとても興味津々でした。

あわせて、三ツ又沼ビオトープの生きものがくらしやすくなるよう、北米原産のセイタカアワダチソウ(外来植物)を抜き取る活動も行いました。



いろいろな方が関わっています

三ツ又沼ビオトープに残された荒川の貴重な自然を守るために、いろいろな方々が三ツ又沼ビオトープに関わっています。



今年度もはじまる荒川の草花の実験

埼玉県立いずみ高等学校 生物サイエンス科

5月30日(水)、埼玉県立いずみ高等学校生物サイエンス科2年生に対して、三ツ又沼ビオトープの自然や保全管理についての講話を行いました。

講話では、荒川の概要や荒川上流河川事務所の役割、三ツ又沼ビオトープの自然や保全管理の課題について紹介しました。その後、生徒の皆さんは班に分かれて、荒川の草花を守り育てるための発芽実験や苗づくりの実習に取り組みました。



三ツ又沼ビオトープの取り組みを紹介

上尾市環境推進大会 2018

6月2日(土)、上尾市文化センターで開催された「上尾市環境推進大会 2018」で三ツ又沼ビオトープの自然や保全管理について紹介するブースを出展しました。

展示を見に来てくださった方には、三ツ又沼ビオトープの生きものの紹介や近隣の市民ボランティア、学校、企業等と連携し、保全管理に取り組んでいる様子などについて説明しました。来場者に地元の自然の魅力について知っていただける機会になりました。



ナチュラリストへの入門講座を開催

上尾の自然を守るナチュラリスト入門講座

6月23日(土)、上尾市環境推進協議会主催の「上尾の自然を守るナチュラリスト入門講座」の夏季編が三ツ又沼ビオトープで行われました。本講座は上尾の自然を守り育てる保全管理や普及広報を行うリーダーを育成することを目的としています。

当日は、あらかじめ市民環境サポーターの案内のもと、三ツ又沼ビオトープの視察と外来植物を抜き取る活動を行いました。その後、これまで活動を行ってきたサポーターの想いを踏まえ、皆で自然を守る活動に参加する意義について考えました。



【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

【環境サポーター大募集!】

自然を守る活動や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集しています(荒川上流河川事務所内のサポーター事務局にて登録)。

地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きな方、荒川が好きな方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています!